

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和4年2月9日(水)15時00分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、加藤原子力規制専門員

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他7名

高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置計画課長

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画の検討状況等について説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料1について）

- ・ 遮へい体等取り出し時のナトリウム液位の SsL 運用において想定される不具合に対する対応フローについて、個別の不具合に対する対応のみ記載されているが、同様の不具合が頻発する場合における対応の考え方についても説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：SsL運用に伴う影響評価とリカバリプランの検討状況